



↑右端が朝宗亭（市ホームページより）

「朝宗亭」は、18世紀に建てられた町家で、通りを挟む本宅「太田家住宅」とともに国の重要文化財です。鞆港に面し、雁木や常夜燈などの港湾施設と一緒に、世界遺産級と言われる歴史的景観を今に伝えています。幕末維新の「鞆七卿落」の舞台として、県の史跡指定も受ける貴重な建造物です。

暮らしに欠かせません。その環境を整えるのは政治の責務ですが、日本の文化予算は、諸外国に比べ格段に低い水準です。

芸術・文化は、心豊かな光や消費拡大に活用しようとっています。学芸員を「観光マインドがない」「一番のガン。この連中を一掃しないと」とした地方創生大臣の暴言にも表れるように、歴史や文化を次世代

市長の政治姿勢を問う

「文化発展の基礎」「適切な保存・活用が重要」

に伝える役割を軽視した経済優先の政策です。

文化財に対する市長の考え方を質したところ、「歴史や文化を正しく理解するための生きた教材で、将来的の文化の向上発展の基礎となる。国民的財産であ

り、適切な保存・活用が重視」「本質的な価値を明らかにし、磨きをかけることで、地域への誇りと愛着を高めるとともに、その魅力を市内外に発信したい」と答えました。

「朝宗亭」は、18世紀に建てられた町家で、通りを挟む本宅「太田家住宅」とともに国の重要文化財です。鞆港に面し、雁木や常夜燈などの港湾施設と一緒に、世界遺産級と言われる歴史的景観を今に伝えています。幕末維新の「鞆七卿落」の舞台として、県の史跡指定も受ける貴重な建造物です。

しかし、老朽化が進み、雨漏りや壁の崩落、建物の傾きも見られ、きわめて深刻な状況にあります。

県や国など関係機関と連携し、緊急に保存修理が必要です。市長がリーダーシップを發揮し、すみやかに対策を行うよう求めました。

市は、「朝宗亭」の現状を「抜本的な修理が必要」と認め、「繰り返し県や国へ状況報告し、文化財建造物保存技術協会に現地調査の継続を強く要請する」

鞆の浦

「朝宗亭」の保存対策を早急に

「町並みの核」「早期修理に取り組む」

↓建物内を視察
=6月19日



6月28日の市議会で、日本共産党市議団から高木たけし市議と河村ひろ子市議が一般質問を行いました。一部をご報告します。



高木たけし



河村ひろ子

活動
報告

福山の教育を考える



7月1日、「子どもと教育を守る福山市民の会」定期総会に参加しました。

日本共産党 議員団 NEWS.:

日本共産党福山市議会議員団
電話・FAX 084-922-2815

